

徳山高専の教員(左から2人目)のアドバイスでパソコン画面を見つめる相談者(左端)



### 夏休み研究課題 小中学生を指導

徳山高専生ら

周南市学園台の徳山工業高等専門学校(以下、徳山高専)の教員や学生が小中学生にアドバイスする「夏休み自由研究」相談室が十九日、同市銀座の高専夢広場であった。周南、下松両市から十六人が訪れ、宿題の手掛かりをつかんでいた。

十六人は塩水の電気分解や地球温暖化問題、モーターの仕組みなどをテーマに相談。高専側のスタッフが参考になるインターネットのホームページをパソコンの画面に開くなどして、研究のポイントを示していた。

下松市下谷の中学二年生藤川倫至君(13)は「分かりやすく教えてもらった。さらに自分なりに発展させて研究をまとめたい」と張り切っていた。徳山高専は、学校内の知識や技術を地域に還元しようと二〇〇五年に相談室を始め、年一回続けている。